



にしく市民活動支援センター にしも広場

2019(令和元)年度 事業報告書

管理運営：認定特定非営利活動法人市民セクターよこはま

■ 管理運営受託 2 期目の運営方針と成果

前期 5 年に引き続き、今年度より 5 年間、当センターを管理運営することとなり、2019 年度は 2 期目の初年度として運営しました。前期 5 年で注力してきた「知ってもらう」ことに加え、一層、地域資源の掘り起こしや結び付けをし、西区や地域のニーズや課題に対し、区民が主体的・積極的に関わる土壌をさらに強固にしていきたいと考え、まずは、ニーズや課題を引き出し、それを皆で学び考えていく機会を創出していくことが必要と考えました。そこで、年度ごとに考えたい重点テーマを設定し、そのテーマに対して様々な視点からアプローチすることとし、1 年目「子ども」、2 年目「多世代」、3 年目「まちづくり」の 3 か年計画を設定しました。

「子ども」を重点テーマとした今年度は、子どもたちが、この西区で、生き活きと成長していくために何が求められるのか、何をしたらよいのかを考える機会とするべく、講座の開催や主に情報誌を通しての情報提供を行いました。結果、小さな事からでもできることをしよう、活動を広げていこうという気運が生まれたと感じています。センターの認知度が上がってきた 2 期目だからこそ、より一層、考える機会・活動のきっかけづくりに努め、共に考えながらしっかり伴走していくことが重要と考えています。

■ 2019 年度の運営方針と成果

今年度は、以下 3 つを重点事業とし、地域に根差し、地域に活用されるセンターを目指しました。

- 「子ども」について、様々な視点から考えました。
 - ・ 区内の様々なボランティア団体・NPO 法人・施設等と連携し、企画会を実施しました。
 - ・ 企画会で提示された「子ども」に関する視点・課題をもとに、講座等を開催し、皆で考える機会としました。
- 積極的に地域に出向き、生きたつながりをつくり、地域の活性化に努めました。
 - ・ 自治会町内会の会合等に参加し、区内の様々な活動団体・NPO 法人等の活動現場を訪問して、地域の情報収集に努め、課題・ニーズの把握に努めました。
 - ・ 自治会町内会と連携して、出張講座や出張コンサートなど地域の方が参加しやすい場をつくり、地域の活性化の一助としました。
- 関係機関等とより一層連携し、地域資源や課題を共有し、地域の活性化に努めました。
 - ・ 例えば、高齢者の居場所づくりなど、地域に存在する多種多様な課題に対し、必要な機関・施設・関係者と連携し対応しました。

■ 2019 年度のセンター利用実績

センター利用件数、利用人数ともに前年度を上回りました。相談については地域の方の相談に加え、活動団体、自治会、地域ケアプラザ、自立支援協議会、NPO など、地域の施設や活動団体からの相談が増加し、複数の専門機関と連携する事例もありました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の措置により、3 月 3 日より休館となったため、3 月は電話での相談対応、印刷・グループボックスのみの来館受付となりました。

項目	今年度累計	前年度累計	前年度比
相談件数	732 件	857 件	85.4%
センター利用件数	3,633 件	3,521 件	103.2%
センター利用人数	9,616 人	8,872 人	108.4%

－事業ごとの報告－

1. 相談事業

◆ 相談機能の充実と日頃の会話から相談につなげる

相談の基本を大切に、誠実に一人ひとりと向き合い、その方の真のニーズを引き出す力、想像する力を日々の実践や研修で高め、職員の相談力をアップすることを目指しました。その為、接遇や個人情報など、相談対応の基礎を再確認し、地域の施設や関係機関と連携を深め、ニーズに即した情報が提供できるよう取り組みました。

定期的に利用される方々との日常的な会話や登録時のヒアリングからも、相談につながる糸口を見つけ、適切な情報提供ができるように心がけました。

1) 相談機能の充実

- ・ 「関わりシート」を活用し、継続的な相談支援経過を可視化したことで、職員間での情報共有やつなぎ先との連携が深まり、多様な方向から適切で円滑な対応を行うことができました。
- ・ 「はじめの一步じっくり相談日」「団体運営なんでも相談日」等テーマごとの相談日を設けることで、じっくりと相談しやすい場づくりを行いました。

2) 相談力の向上のための取組の実施

- ・ 職員全員で行う会議において、定期的に、最近 1 か月で行った相談対応の中の気になる事例をピックアップし情報を共有しました。また、相談内容や対応について検討し、今後に向けて、よりよい対応を考えました。
- ・ 職員研修において、相談対応における基本の 3 つのステップ（インテーク、コーディネート、クロージング）を行いました。相談場面を具体的に考えながら、対応の方法を学びました。

- ・ 活動団体、地域住民の方と共に学びながら基礎知識を高め、スキルアップを目指す職員研修を「認知症」「障がい」「救急救命」をテーマとして実施しました。（活動に役立つ知っておきたいシリーズ）

時間・場所	テーマ・内容
10/10（木） 13:00－15:00 受講者数：9 名 @にしとも広場	『もし、自分自身や大切な人が認知症になったら』 講師：高齢者 GH 横浜ゆうゆう 施設長 井上義臣さん 自分自身や大切な人が認知症になった時のことを「旅のことはカード」を使いながらイメージして、認知症についての基本的理解や対処方法について一緒に考えました。
12/13（金） 13:00－15:00 受講者数：11 名 @にしとも広場	『精神障がいについて 当事者から学ぶ』 講師：生活支援センター西 利用者 生活支援センター西 施設長 永瀬誠さん ストレスの多い現代、精神障がいは誰がかかると可能性がある病気です。生活支援センター西の利用者さんと共にグループワークを行い、様々な状況の方が地域の中で共に暮らすことを考えました。
1/28（火） 13:00－15:00 受講者数：7 名 @にしとも広場	『いざという時役立つ 救急救命』 講師：一般社団法人 EMR 河波弘晃さん 基本的な心肺蘇生法や、AED（自動体外式除細動器）の操作を学び、緊急時の対応について実例を通し具体的に学びました。



2. 情報提供・発信事業

◆様々な情報提供のツールを使い、定期的、多面的に情報を発信

昨年度に引き続き、当センターの持つ情報や当センターの周知をさらに促すために、3つの紙媒体を活用しました。また、日常のお知らせについて、フェイスブックとホームページを併せて活用しました。

1) 情報紙『にしとも広場』（カラー冊子・全8P）の発行

- ・ 今年度の重点テーマとリンクし、「子どもを大切に思う全てのひと」をコンセプトに、年2回（9月・3月）、5,000部／回を発行しました。

- ・ 各号、西区で子どもに関わる活動をしている方々に、活動の原点や想いについて取材し、地域活動・市民活動のはじまりや継続に役に立つよう、わかりやすい情報として発信しました。

<特集内容>

- ・ 第 13 号：「子どもを大切に思う全てのひと」
特集記事：地域で育つ子どもを考える
掲載団体：にしともるーむ、フリーサロン 5、あみだな、よこはま布絵本グループ、訓練会キャロット、共育会
- ・ 第 14 号：「子どもを大切に思う全てのひと Part2」
特集記事：地域で育つ子どもを考える
掲載団体：あずまっこ、子育て相談パートナー、浅間台見晴らし公園外遊び運営委員会、よこはま学習教室、かもん未来塾、横浜 18 区ブランディングプロジェクト



<14 号>



<15 号>

2) 簡易版情報紙『にしとも広場 mini』（カラー A4 両面印刷）の発行

- ・ 表面にはトピック・お知らせ、西区街の名人達人の「来て見て聞いている日」を、裏面にはにしとも広場のイベントカレンダーや自主事業の活動などを掲載し、年 4 回(5 月、9 月、12 月、3 月)発行しました。
- ・ 情報紙『にしとも広場』と同様、自治会町内会の班回覧を活用しました。写真やイラストなどを効果的に使用し、分かりやすく、インパクトのある紙面づくりに努めました。



<11 号>



<12 号>



<13 号>



<14 号>

3) フェイスブックでの情報発信

- ・ 2017 年度にフェイスブックページを開設して以来、SNS を通じた情報収集が得意な世代も含めた幅広い層への情報発信ツールとして、よりタイムリーに、イベントの開催内容やにしとも広場のイベント情報を発信しました。少しずつですが、フォロー数も増加しました。
- ・ フェイスブックページへの「いいね」数：428 人 2020/3/31
(参考：156 人 (2019/3/31 時点))



4) ホームページでの情報発信

- ・ 地域やにしとも広場で開催されるイベント情報やボランティア募集情報など、タイムリーな情報発信を行いました。
- ・ 『にしとも広場 mini』など紙媒体では、QRコードを掲載し、ホームページの存在をアピールし、フェイスブックと連動させるなど、ホームページへの誘導を行いました。



5) 展示スペースの活用

- ・ 壁面ギャラリーコーナーと立体作品の展示スペース「小箱ギャラリー」の活用を周知しました。
- ・ 積極的に活動団体・個人に展示を呼びかけ、開催講座の見本作品や講師製作物の展示を行い、活動の周知に活用しました。
- ・ 展示作品をきっかけに、活動を始めたいと考え、講座依頼を検討する方もありました。

3. 活動団体のマネジメント支援および、ネットワーク支援事業

◆活動がステップアップする機会や情報を提供し、より活発な活動となるよう支援

地域人材ボランティア『西区街の名人・達人』や登録団体などの活動がより活発になり、地域でも活躍の場が増えるよう支援しました。

＜1＞ 地域人材ボランティア事業『西区街の名人・達人』（以下『西区街の名人・達人』）

1) 『西区街の名人・達人』の登録更新

- ・登録者全員に呼びかけ、希望者に「来て・見て・聞いている日」で講座や演奏を披露する機会を作りました。
- ・2020/3/31 時点の登録数 141 件。（新規登録 16 件、高齢による活動停止や、転居などの理由を含む更新辞退 20 件、2019 年 3 月 145 件より▲4 件 前年度比 97.2%）

2) 『西区街の名人・達人』のコーディネート

- ・それぞれの長所を活かしたコーディネートができるよう、職員が活動先に出向き、実際の活動の様子を知る機会を作りました。活動内容については、コーディネート時に詳しい情報を提供できるよう職員間で情報共有しました。
- ・コーディネートの相談があった際には、単なるコーディネートにとどまらず、相手のニーズを丁寧に聴き、地域や活動がより活性化するよう心掛けました。
- ・コーディネート 申込 52 件（前年比 108.3%）、成立 43 件（前年比 97.7%）

3) 『西区街の名人・達人』の活動披露の場づくり

- ・「昼どきコンサート」や「来て・見て・聞いている日」、「うたごえ広場」などで活動を披露する場を作りました。

●昼どきコンサート

- ・子ども連れでの参加や、障がい者、高齢者施設からの参加も増えました。
- ・オカリナなど、コンサート後に習いたいという問い合わせが数件寄せられたケースもありました。
- ・ケアプラザのコンサートや地区センターの講座実施につながるケースもありました。

開催日	出演グループ（敬称略）	ジャンル	参加者数
4/2（月）	廣原 武乃	津軽三味線	50 名
5/27（月）	La seed	クラシック	31 名
6/24（月）	莉玲	歌・手話ソング	18 名
7/22（月）	金子 敏郎	カントリー & ウェスタン	42 名
8/26（月）	ママ音楽ユニット♪ショコラッティ♪	歌・手遊び歌	27 名
9/24（月）	音遊び ぐるっぽ	歌・コーラス	9 名
10/28（月）	TH' s ファンタ s y	ミュージックベルとトーンチャイム	20 名
11/25（月）	音緒の会	三味線	17 名
12/23（月）	La seed	クラシック	31 名
1/27（月）	オカリナ はま風	オカリナ	16 名
2/25（月）	日本の音色を楽しむ会	民謡	25 名

3/23 (月)	ママ音楽ユニット♪ショコラッティ♪	歌・手遊び歌	休館のため中止
----------	-------------------	--------	---------

計 286 名



●西区街の名人・達人によるミニ講座「来て・見て・聞いての日」

- ・ 開催希望が増え、ひと月に 2 ～ 3 講座となる月もありました。
- ・ 講座参加者の要望を受け、自主事業として年に 3 回の開催したのもありました。また、講座開催後に自主グループや、自主企画の講座へ発展するものがありました。

開催日	題名	講師（敬称略）	参加者数
4/21 (金)	和みのヨーガ かるた大会	シャンティ	7 名
5/25 (土)	お散歩フォトとカフェ写真の撮り方	フォトラボ・ルーチェ	23 名
5/31 (金)	北欧モチーフとヒンメリのビーズストラップ	田中 碧	8 名
6/29 (土)	親子で楽しむお話し会	えほんのはらっぱ	14 名
7/27 (土)	緑茶ベースのデトックスウォーター	井上 香織	6 名
8/4 (日)	わくわく♪剣舞体験	丹羽 滉鳳・小島翔鳳	25 名
9/1 (日)	季節のミニ飾り（お月見）	高野 圭子	6 名
9/20 (金)	ミリアイナわくわく講座（フラダンス）	日沼 友希	11 名
10/7 (月)	ちゃぼさんと打楽器を叩いてあそぼう！	加藤 ちゃぼ	9 名
10/19 (土)	にしきフォト散歩「ランドマーク三十六景」	にしきシティガイドグループ フォトラボ・ルーチェ	19 名
10/25 (金)	みんなのための遺言と相続	新井 克巳	5 名
11/14 (木)	ゴスペルヒップホップ	Onethingcrew	6 名
11/16 (土)	にしきフォト散歩「ランドマーク三十六景」2	にしきシティガイドグループ フォトラボ・ルーチェ	12 名
11/30 (土)	水墨画で描く干支の年賀状～子年～	吉田 紅峯	6 名
12/1 (日)	声磨きボイストレーニング	美姫 ヒカル子	9 名
12/14 (土)	キラキラ輝くクリスマスのサンキャッチャー	森田 順子	7 名
1/12 (日)	気軽に体験！落語と南京玉すだれ	よろず家 芝吉	3 名
2/7 (金)	ベビー＆ママニコニコ 3 B 体操	(公社) 日本 3 B 体操	12 名
2/29 (土)	げんき絵手紙	川口 整	8 名
3/5 (木)	津軽三味線演奏会	廣原 武乃	休館のため中止
3/27 (金)	初めて大歓迎！大人のバレエストレッチ	森永 真希	休館のため中止

計 196 名



●うたごえ広場

- ・ 参加希望人数が多数となった為、年度途中から事前予約制、午前・午後の 2 部制となりました。
- ・ 毎回参加する方も多く、西区内他の施設での演奏依頼も増えました。

開催日	演奏者	参加者数
5/12 (日)	一座にしエイチファイブ	66 名
7/14 (日)	一座にしエイチファイブ	64 名
9/29 (日)	一座にしエイチファイブ	120 名
11/10 (日)	一座にしエイチファイブ	64 名
1/19 (日)	一座にしエイチファイブ	81 名
3/8 (日)	一座にしエイチファイブ	休館のため中止

計 395 名



●出張コンサート

- ・ にしとも広場へ来館しにくい地域にも、『西区街の名人・達人』の活動を知ってもらう機会として始めた出張企画です。今年度は以下の演奏依頼に対応しました。

開催日時・会場	題名	出演者	参加者数
9/12 (土) 11:00 - 12:00 @浅間町 5 丁目 町内会館	元気づくりステーションお茶の間会	廣原武乃	15 名

1/19（日） 14:00－14:45 @ブリリア 2 階ロビー	ブリリアみらいコミュニティ 新春コンサート	La Seed	31 名
-------------------------------------	--------------------------	---------	------

4) 『西区街の名人・達人』のホームページ掲載情報の更新

- ・新規登録の際には速やかにデータベースに追加するとともに、ホームページでも紹介し、活動の周知に努めました。

5) 登録団体・者の活躍&交流の場（「おりがみカフェ」「みちあそび」）

●「おりがみカフェ」

- ・幼児から高齢者まで多世代が参加。おりがみ講師が初心者から上級者、レベルに合わせたおりがみを提供し、それぞれに楽しむことができる時間となりました。
- ・おりがみカフェ終了後には、講師同士の交流会を実施し、互いの作品や活動・思いなどを話す時間を持ちました。

開催日時	内容	参加者数
7/21（日） 10:00-12:00	「おりがみカフェ 夏」 西区街の名人・達人登録のおりがみ講師 3 組による おりがみ教室 （同時開催）読み聞かせボランティア「えほんのはら っぱ」による、えほんの読み聞かせ	38 名
3/22（日） 10:00-12:00	「おりがみカフェ 春」 西区街の名人・達人登録の おりがみ講師 3 組によるおりがみ教室	休館のため中止

計 38 名



●「みんなで !! みちあそび」

- 共催：NPO 法人はぐっと・公益財団法人よこはまユース・浅間台みはらし公園外遊び運営委員会
- ・子育て世代ににしとも広場を知ってもらうことを目的に、昨年引き続き、2 回開催しました。
- 多くの親子が参加して、チョーク遊び、水あそびなどを楽しみました。

- ・2017 年度の地域大卒業生でもある「浅間台みはらしプレイパーク運営委員会」が、昨年はボランティアとして、今年度は共催団体として参加し、子どもたちの遊びが広がりました。
- ・よこはまユースが呼びかけた高校生ボランティアが 5 名参加し、子どもたちと一緒に遊びながらサポートしました。
- ・読み聞かせグループえほんのはらっぱが、読み聞かせを行いました。

開催日時	内容	参加者数
7/28（日）10:00-12:00	チョーク遊び、水遊び、カプラ、新聞紙遊び	104 名
9/8（日）10:00-12:00	会場：にしとも広場の屋内・屋外	67 名

計 171 名



＜2＞登録団体の活動支援及び交流の促進

1) 登録団体の活動支援を行いました。

- ・ 会員募集や、イベントのチラシを貼りだすスペースを設け、活動につがるよう支援しました。
- ・ 印刷や、ミーティングスペースでの活動についてサポートを行いました。
- ・ 2020/3/31 時点の登録数 195 件。（2019/3/31 時点 186 件。9 件増加）

2) 登録団体の交流 →延期（コロナウイルス感染拡散防止に係る休館のため）

- ・ 登録団体及び西区街の名人・達人の交流会を企画しました。
開催日時：2020/3/19（金） 交流会 16:00－17:00 懇親会 17:00－19:00
40 名の申込みがあり、開催希望の声も強くあり、来年度の開催を予定しています。

＜3＞西区民まつりへの参加

- ・ 全体を通し、525 名（昨年度比 150%）の参加がありました。
- ・ にしき名達の会、NPO 法人はぐつと、藤棚一番街商店街などの協力を得てスタンプラリーを実施しました。
- ・ 西区街の名人・達人登録者への呼びかけを行い、講師の作品をスタンプラリー景品として寄贈を依頼、その他の景品についても咲弘洞（居場所）、仕事処アニミ（障害者就労移行支援施設）から購入するなど地域資源を活用しました。

- ・ 施設前のスペースでチョーク遊びを行い 168 名の親子連れが楽しみました。
- ・ 西区街の名人・達人に登録の「カタビラーズの戦隊ショー」や、「地域密着！着ぐるみ懐メロ音楽隊 日ノ出サンデーズ」のコンサート、よこはま布えほんぐるーぷの布絵本やおもちや、日本茶インストラクターのボランティア参加など、日々の関わりから生まれたつながりを大切にしました。



4. 地域支援事業

◆ 地域で活躍する人材の掘り起こしと養成

当センターに来館される「何かをしたい」「何ができるだろうか」「活動したいがどうしたらよいかわからない」というような思いを活動につなげるきっかけづくりをし、地域での活躍を促しました。

地域活動・市民活動応援講座

ボランティアを始める上での心構えや実践者の話を聞く機会、実際の活動を体験してみる機会、気軽に参加できる趣味で集まる機会などを設け、幅広い層の活動参加を促しました。地域課題やニーズにあわせ、関連施設・機関と、企画段階から協力いただくなどの連携も考慮しながら実施しました。

1) 地域で育つ子どもを考える

横浜市立大学 准教授の三輪先生の基調講演を基に、小さな時から地域と関わりを持って暮らし、子どもたちを地域で見守り、育てることを考えました。出産前から、青少年まで、子どもを支援しているみなさんと、参加者とともに、地域の中で何が課題で、何ができるのかを共有する時間となりました。

日時・場所	内容
7/7 (日) 13:30 - 15:30 @にしとも広場 受講者数：30 名	基調講演 講師：横浜市立大学 三輪律江先生 パネリスト 西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート 山田美智子さん 公益財団法人よこはまユース 守田洋さん 西区第四地区社会福祉協議会 米岡美智枝さん

2020/2/11（火） 13:30－15:30 @にしとも広場 受講者数：23名	コーディネーター 上岡美津子さん（元小学校校長） パネリスト 西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート 山田美智子さん 公益財団法人よこはまユース 菊地聡太さん 西区民生委員児童員協議会 武田容子さん
--	--

[illegible][illegible]

＜アンケートより＞

7/7(日) 平均点 90 点/100 点満点

- ・とても参考になりました。時間が足りないくらいでした。
- ・地域の中で子どもを育てること考えたいと思います。

2/11(火) 平均点 88 点/100 点満点

- ・いろいろな活動をしている方がいたので刺激になりました。
- ・自分の活動のヒントになりました。

2) リユースの日

普段にしとも広場に足を運ばない子育て世代の方に、にしとも広場を知っていただくきっかけとして実施しました。

日時・場所	内容
6/30（日） 10:00－11:30 @にしとも広場 参加者数：71 名	リユースの日 第 1 回目 対象：0 歳～小学生の洋服・玩具・絵本など
11/23（土） 10：00－11:30 @にしとも広場 参加者数：72 名	リユースの日 第 2 回目 対象：0 歳～小学生の洋服・玩具・絵本など

リユースの日

In にしとも広場

対象：0才〜小学生の、衣服、絵本、おもちゃ

主催：区民協賛で子育て支援センターよりサポート、にしとも広場

「子どもたちへプレゼント、お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない」といって、お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。

6月30日(日)
10:00〜11:30
 10:00〜10:30 平日の通常開場時間
 10:30〜11:30 本日の特別時間

絵本読みだす

絵本をたくさん読んで、お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。



絵本読んで楽しむ

絵本をたくさん読んで、お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。



遊び場

絵本をたくさん読んで、お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。



遊び場

絵本をたくさん読んで、お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。お母さんやお父さんへお返し、捨てるものはない。



[illegible]

3) 外国につながる子ども対象 にしともーむ

2018 年度事業「日本語・学習支援ボランティア養成講座」の修了生が中心となり、2018 年 9 月より学習支援教室「にしともーむ」を開始しました。

(毎週火曜日 16:00～17:00、第 1・3 土曜日 10:00～11:00 実施)

様々な国につながる子ども 12 名程度の小学生が通い、ボランティアの方とマンツーマンで、宿題など自分に必要な勉強をしました。

2019/4～2020/3 実施回数 67 回 (3 月は休館のため実施なし)



4) 魅力的な空間づくり～空きスペース・空き部屋・空き家の可能性を考えよう～

社会的課題としてニュース等でも取り上げられている「空き家・空きスペース・空き部屋」について、市民活動や地域活動との関連性をお話いただき、「空間」から考えるまちの魅力づくりについて学び合いました。

福祉的な側面から空き家活用を考えている方、実際に空き家などの物件を持っている方からの申し込みが多かったです。

日時・場所	内容
9/5 (木) 13:30 - 15:30 @にしとも広場 受講者数：16 名	「魅力的な空間づくり～空きスペース・空き部屋・ 空き家の可能性を考えよう～」 講師：NPO 法人横浜プランナーズネットワーク 山路清貴氏 講義、アイデアミニワーク



<アンケートより> 平均点 89 点 (100 点満点中)

- ・近隣の地域で既に魅力的な活動がされていて、見学などにいってみたいと思いました。
- ・具体的なつながりを連想する機会になりました。考えを進めてみたい。

5) マンション防災講座

マンションならではの地震被害や、防災対策と課題、地域防災拠点との連携などについて学び合いました。認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワークからは、マンション防災にあたって知っておきたい基本事項についてお話いただきました。

日時・場所	内容
11/24 (日) 10:00 - 12:00 @にしとも広場 受講者数：23 名	講師： 認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク



<アンケートより> 平均点 90 点/100 点満点

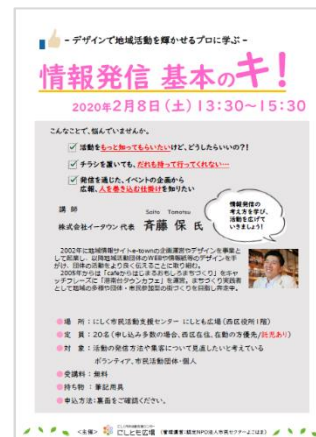
- ・地震や水害が相次いでいて、防災に対する関心が高まっている。今こそ住民の啓発のチャンスと思いました。

- ・発災時、段階を追って管理組合がなすべきことがわかって良かったです。
- ・大地震の動画をTVなどでよく観ていても、今回の講義の動画は、圧倒されました。自宅での対策もきちんと考えたいです。

6) 情報発信基本のキ

活動団体の情報発信力の向上を目的として、情報発信の基本の考え方、発信物のブランド化、情報発信のスケジュール管理、簡潔に相手に活動内容を伝える大切さなどについて学び合いました。

日時・場所	内容
2020/2/8 (土) 13:30-15:30 @にしとも広場 受講者数: 9名	「共感を生み出す情報発信」 講師: 株式会社イータウン 代表 斉藤保氏 講義、グループワーク



<アンケートより> 平均点 91 点/100 点満点

- ・地域とのつながりの重要性を知れて良かった。色合いのポイント、勉強になりました。
- ・広報の基礎を学べて良かったです。
- ・自分のチラシを他の人に見もらうワークは少し恥ずかしかったですが、色々な意見をもらえてとても良かったです。
- ・PR について課題があったので、解決策につながる情報をたくさん GET できました。

<3> 意見交換会の実施

自治会町内会、センター利用者、地域人材ボランティア、区内関連施設などの方々にお集まりいただき、当センターの事業や役割について、また地域にある課題やニーズについてなど意見交換をしました。

日時・場所	参加者
1/31 (金) 16:00-17:30	(以下 9 名) 西区第五地区自治会連合会 会長 平野 周二さん 西区第四地区社協 会長 米岡 美智枝さん 藤棚一番街協同組合 理事 (今井かまぼこ店) 今井 宏之さん 西区在宅介護者のつどいあけぼの会 代表 竹下 淳子さん にしく名・達の会 会長 服部 和男さん NPO 法人西区はーとの会 理事長 三宅 義子さん 生活創造空間にし 施設長 阿部 浩之さん 西区子育て支援拠点 スマイルポート 施設長 山田 美智子さん

<ご意見より>

- ・にしとも広場は、情報収集の場と思っている。防災講演会など、昨年に引き続き実施してほしい。
- ・あちこちに顔を出していろいろ歩いているところが、にしとも広場の良いところだと思う。
- ・商店主も地域を抱えて生きることが大事なので、情報共有しながら進めていきたい。
- ・地理的に遠いので、知恵をもらったりしながら協働の仕事ができればと思う。

5. 区・区民利用施設等との連携事業

◆地域力アップを目指し、地域情報の共有と連携の促進

＜1＞区民利用施設等との連携会議の実施（年1回）

地区センターやコミュニティハウスなど、情報共有の機会を持ちにくい施設もあるため、西区全施設が集う本会議は、貴重な情報提供・共有の場となっています。今年度も昨年度同様、連携に進むきっかけとして「お土産カード」を用意しましたが、お互いの顔がわかる関係の中、昨年以上に多くのお誘いコメントがあり、次年度の連携に向けて有効な場となりました。

日時・場所	内容
12/10（金） 13:00～15:00 @にしとも広場 参加：16 施設 19 名 （欠席 2 施設）	①高齢・障害支援課による情報提供 ②事前アンケートをもとにした事業発表・共有 ③お土産カードの記入（各施設に「いいね」「一緒に」の点で記入する） ・事前アンケートとして「次年度の事業、ちょっと困っていること、一緒にしたいこと」を各施設から提出してもらい、とりまとめ一覧にしたものを当日全員の手元資料とし、発表・共有のツールとしました。 ・お土産カードの記載内容は、後日とりまとめ、一覧にして施設間で共有しました。

＜2＞センター事業における区内施設等との連携

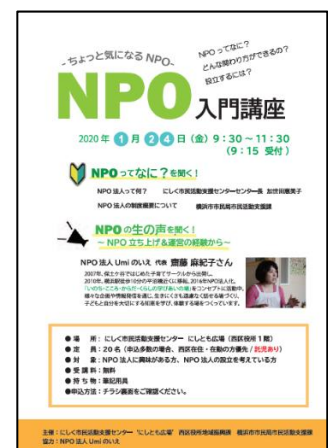
●生活支援センターにしとの連携

昨年に引き続き、『精神障がいについて 当事者から学ぶ』として、生活支援センターにしの利用者の方に登壇いただく講座を12月に開催しました。登壇することが、ご自身の自信やステップアップにつながると、双方にとって開催意味のある講座となりました。（P.3 参照）

●市民局市民活動支援課・西区地域振興課との連携

NPO 法人の制度や実際の活動について学ぶことを目的とした「NPO 法人入門講座を実施しました。

日時・場所	内容
1/24（金） 9:30～11:30 @にしとも広場 参加：25 名	講義：「NPO ってなに？」 センター長 加世田恵美子 実践報告： NPO 法人 Umi のいえ 斎藤麻紀子さん



＜アンケートより＞

- ・NPO がどういうものか、活動している人がどのような志で活動しているのかが概要的によくわかった。基本的な知識が身についた。
- ・NPO という言葉しか知らず、自分もまだイメージでしかなくのことの中での受講だったが、とても分かりやすかった。
- ・Umi のいえがどんな想いで NPO を立ち上げられたのかが参考になった。

＜3＞ 地域振興課が実施する生涯学習・市民活動支援講座 運営支援

- ・ 「留学生と交流しながらガイドをしよう」講座の広報協力を行いました。
- ・ ガイドグループ「にしきシティガイドグループ」の活動支援として、当センターの活動団体、西区街の名人・達人の登録へとつなげ、地域振興課と連携して活動定着を図りました。

6. 施設環境への取り組み

◆ 小さな出会いを大切にし、つながり・活動を育む、居心地の良い場へ

区民まつりやイベントに参加した親子が、友だちと一緒に来館し、キッズコーナーで子どもを遊ばせながら子育てイベントのチラシを見たり、地域づくり大学校の参加者が「にしとも広場」を使ってイベントを開催したりと、小さな出会いが次につながっています。丁寧な対応や、適切な情報提供と共に温かな場づくりを心掛け、「とりあえずにしとも広場に行ってみよう」、そう感じていただけるような、つながり・活動を育む場を作りだせるよう工夫しました。

1) 誰もが立ち寄りたくなる場づくり

- ・ 昨年に引き続き、「昼どきコンサート」など、誰もが気軽に参加できるイベントを開催しました。
- ・ 参加者同士が知り合える、何となく仲良くなれるきっかけづくりを心掛けました。
- ・ 地域人材ボランティアバンクの登録者の発表の場としても活用しました。
- ・ グループボックス（ロッカー）を新しくし、設置数・収容量を増やし、活動者の利便性を図りました。
- ・ 外看板を常設掲示板に変更し、閉館時でも情報をお伝えできるようになりました。

2) 居心地の良い環境づくり

- ・ コーヒーコーナー（※）とキッズコーナーを設け、居心地の良い空間を創りました。コーヒーコーナーを利用して、地域の方が休憩したり、区役所帰りの親子連れが食事をするなど、小さな居場所としての活用につながりました。（※新型コロナ感染防止の対応として 2 月 20 日利用停止）
- ・ 配架しているチラシの中から、おススメ情報をピックアップして、入り口の掲示板に貼り出しました。
- ・ センターに立ち寄られた方に、センターを利用しての活動を積極的に呼び掛けました。

3) 施設内安全への配慮

- ・ チラシ配架のラックの状態や、掲示物については画鋲が取れていないかなどを確認しました。
- ・ 月に 2 回、日を定めて設備や機材を点検し、安心して利用できる環境とし、事故を未然に防止しました。
- ・ ウィルス感染防止対策として、手指消毒を常備し利用を呼び掛けるとともに、利用後は机等のアルコール消毒を行いました。
- ・ 車いすや、ベビーカー、歩行に不安がある方も含め、どなたにでも安心してご来館いただけるように、入り口の段差を無くし、自動ドアに変更しました。（小さなお子様が急に飛び出したりしないよう、施設内の開閉ボタンは設置位置を調整しました。）

7. 職員配置体制・資質向上への取り組み

◆ 日頃からのコミュニケーションを大切に

職員個々のモチベーションはセンターの雰囲気にも影響します。日頃からのコミュニケーションを丁寧に行うことは、職員間の人間関係や、センターの雰囲気づくりや居心地のよさにつながると考えます。研修については、今年度も常勤・非常勤ともに、内外の研修に参加し、スキルアップと新しい視点を取り入れるよう努力しました。地域の中へも積極的に出向き、コミュニケーションの中で生きた情報の橋渡しができるよう心掛けました。

1) 現場訪問

- ・ 市民活動や地域活動の現場に出向く機会を大切にしました。
- ・ これらを職員間で共有する機会を設け、相談対応力やコーディネート力のアップにつながるよう努力しました。



〈NPO 法人街カフェ大倉山ミエル〉 〈生活支援センター西クリスマス会〉 〈羽沢西部お月見会〉

2) 相談力向上に向けた研修の実施（再掲）

- ・ 職員全員で行う会議において、定期的に、相談対応の中の気になる事例をピックアップし情報共有・内容検討をし、今後のよりよい対応につながるよう努力しました。
- ・ 職員研修において、相談対応における基本の 3 つのステップ（インテーク、コーディネート、クロージング）を再確認しました。
- ・ 活動団体、地域住民の方と一緒に学ぶ研修を開催し、共に学びながら、基礎知識を高め双方のスキルアップにつながる機会を作りました。

3) 防災・減災、防犯、個人情報保護などに対応した研修の実施

- ・ 利用者がいる場合の地震や火災などの緊急時の対応や不審者が来た場合の対応を、職員会議等を通し学びました。
- ・ 個人情報保護に関する研修を全職員参加で実施し、さらに、日々の業務の中における情報漏えいを起こさない仕組みを全員会議で点検しました。
- ・ AED や心肺蘇生法の研修を実施し、救急救命の基本を再確認しました。

4) 他区の区版支援センターとの情報交換および交流、研修への参加

- ・ 横浜市市民活動支援センターが実施するネットワーク会議に参加し、他地域の先進事例を学びあい、積極的に情報交換を行いました。
- ・ 相鉄沿線 6 区市民活動支援センター会議を開催し、情報の共有を含め連携を深めました。（年 1 回開催）

5) 外部研修への参加

- ・ 各職員が、自主的に、自らの成長に必要と考える研修に参加しました。

参加研修（抜粋）

開催日	研修名	主催等
9/1（日）	人が集まるイベント企画とチラシの作り方	男女共同参画おおた 坂田静香氏
11/18（月）	地域のまなざしと「ひきこもり」	公益財団法人よこはまユース
11 月～12 月	地域活動 スタートアップ講座	NPO 法人参加型システム研究所、かながわコミュニティカレッジ事務局
6 月～9 月	NPO & 施設のためのビジネス基礎講座	東京ボランティア・市民活動センター
12/2(月)	つながりが生み出すにこやかな暮らし	西区役所
12/23（月）	援助職・家族向け研修	西区役所
2/26（水）	「つなげる」ためには何が必要か。～コーディネートに必要な知識と能力を考える～	教育委員会生涯学習文化財課

8. 西区役所との協働

1) 定例会議や組織会議でお互いの成果や課題を丁寧に共有

- ・ 定例会議を月 1 回実施するほか、日常的にお互いの事業やそれに関わる情報を共有しました。
- ・ 地域振興課管理職と当法人事務局長及びセンター長との会議の場「組織会議」を、四半期毎に設けました。センター運営状況や組織が一体となって運営していることをお互いに理解し共有し、信頼関係をさらに強めました。

2) 協働契約書を締結し、センターの事業目的の共有と双方の強みを活かした運営の実現

- ・ 区役所と民間である当法人が協働で事業運営に取り組むことで、双方の強みを生かし、相乗効果が得られるような運営としました。
- ・ 区役所幹部と当法人役員の意見交換の場を設け、センターの方向性を共有しました。

3) センター運営に関する協働のふりかえりの実施

- ・ 年度終了後に、「協働に関する相互検証シート」をお互いに作成し、にしも広場の運営を協働で取り組んだことに関してふりかえりを行いました。

以上

